

審議事項の優先順位について

	人材育成、 人材確保	地域間格差	まちづくり 計画	まちづくり 交付金	コミュニティ ビジネス (協働委託)	市職員の 意識改革	コミュニティ・ センターの 整備、管理	備考
松永会長	1	2	3	4	6	7	5	「市職員の意識改革」は、全体にかかる課題でもあり、別に柱を立てて、論議すること。答申での扱いについても同様です。
塩川副会長	3	4	1	2	6	7	5	協働について(5番の協働委託のことではない) ①現状の協働の実態について ②これからの協働はどうあるべきか
梶原委員	4	1	2	3	7	6	5	
権田委員	4	3	7	1	6	5	2	
十時委員	6	4	3	2	7	1	5	・学校(教育機関)、企業等との連携 ・情報共有、交換のための拠点
東委員	1	5	3	2	4	6	7	コミュニティ(運営協議会)からの情報発信の充実 特に、広報紙の活用を (事業報告だけでなく、まちづくりの方針や課題等の周知も必要では)
前田委員	4	5	1	2	6	7	3	
松山委員	1	2	4	3	5	7	6	・やはり範囲が課題として気になります(初回で市より回答はいただいたのですが・・・)。確かに各地区の住民が自ら範囲について決定した経緯はありますが、総合的なコミュニティ施策を検討するのであれば、範囲は最も大きな課題であると思います。実際、現場では様々な弊害が出ています。今回の会ではそのような審議が必要ない(会の目的上)ということであれば、別の機会を設けて、ぜひ整理する必要があると思います。 ・今回の事前資料及び審議事項は、市が準備したものですが、この資料に職員ばかりでなく、現場の声が反映されているのか、事前に情報収集等はなされたのか・・・、会として客観性を保つ為にも必要な、と感じます。
森委員	6	7	1	2	5	3	4	(1. 人材育成、人材確保と関連して) 地域役員の負担問題→多忙な役員の活動が人材確保に影響しかねない (自治会長＝コミュニティ役員という状況をどう考えるか) (小規模集落の負担が大きい問題も)
山崎委員	0	0	0	0	0	0	0	・どれが1番、2番と順位を決めるのは、むずかしい。コミュニティ課で希望する順位があれば、それでOKです。 ・各コミュニティの大きな特徴があれば、聞きたいです
平均	3.00	3.30	2.50	2.10	5.20	4.90	4.20	